



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月10日

上場会社名 株式会社スマサポ 上場取引所 東  
 コード番号 9342 URL http://www.sumasapo.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 小田 慎三  
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役経営企画本部長（氏名） 藤井 裕介 (TEL) 050(1741)1119  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第2四半期の業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	969	—	△42	—	△55	—	△66	—
2022年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期第2四半期	△28.99		—					
2022年9月期第2四半期	—		—					

(注) 1. 当社は、2022年9月期第2四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2022年9月期第2四半期の実績並びに2022年9月期第2四半期及び2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2023年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	611	416	68.1
2022年9月期	563	340	60.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 416百万円 2022年9月期 340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00			
2023年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,906	42.4	190	148.2	185	137.4	140	90.2	60.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期2Q	2,405,200株	2022年9月期	2,211,700株
2023年9月期2Q	一株	2022年9月期	一株
2023年9月期2Q	2,302,928株	2022年9月期2Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、2022年9月期第2四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、2022年9月期第2四半期の期中平均株式数については、記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染対策による行動制限の大幅な緩和により、消費活動は回復の兆しがみられました。その一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米国金融機関の破綻、資源価格や原材料価格の高騰によるインフレ圧力等国内景気の先行きや企業収益に与える影響については依然として不透明な状況が続いております。

当社が主にサービスを提供する賃貸不動産管理業界におきましては、賃料も安定的に推移しており、また、既存物件の入居率も入居者のライフスタイルの多様化やテレワークの定着等により、引き続き堅調に推移すると見込んでおります。

このような状況の下、当社の主力サービスである「スマサポサンキューコール」及び入居者アプリ「totonono」の需要は高く推移しており、受注拡大に向け注力いたしました。その結果、入居者アプリ「totonono」の契約社数は堅調に推移いたしました。また、「スマサポサンキューコール」における大東建託パートナーズ株式会社へのサービス開始時期が、システム改修に時間を要していることから遅れております。なお、既に受注は完了しており今期中にはサービスを開始できる見込みとなっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は969,345千円、営業損失は42,936千円、経常損失は55,334千円、四半期純損失は66,758千円となりました。

なお、当社は不動産管理会社向けソリューション提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ47,814千円増加し、611,173千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ47,347千円増加し、443,608千円となりました。これは主に、売掛金が20,218千円減少した一方で、現金及び預金が8,880千円、その他が62,336千円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ466千円増加し、167,565千円となりました。これは主に、その他無形固定資産が4,177千円、投資その他の資産が11,450千円減少した一方で、ソフトウェアが18,004千円増加したこと等によります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ27,842千円減少し、194,930千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ27,536千円減少し、189,224千円となりました。これは主に、買掛金が10,234千円増加した一方で、その他が22,380千円、未払法人税等が15,117千円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ306千円減少し、5,706千円となりました。これは主に、保証履行引当金が173千円減少したこと等によります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ75,657千円増加し、416,243千円となりました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資等の実施により資本金及び資本剰余金がそれぞれ71,208千円増加したこと、四半期純損失の計上により、利益剰余金が66,758千円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は312,286千円となり、前事業年度末に比べて8,880千円増加いたしました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは100,248千円の支出となりました。これは主に、売上債権の減少額20,218千円等の収入があった一方で、税引前四半期純損失55,334千円の計上、立替金の増加額52,462千円、未払消費税等の減少額24,962千円の支出があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは33,159千円の支出となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出32,695千円があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは142,288千円の収入となりました。これは主に、株式の発行による収入142,416千円の収入があったこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年12月29日に公表いたしました「2022年9月期決算短信」の内容に変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	303,405	312,286
売掛金	64,351	44,133
商品	4,888	2,434
その他	26,949	89,285
貸倒引当金	△3,335	△4,531
流動資産合計	396,260	443,608
固定資産		
有形固定資産	9,341	7,432
無形固定資産		
ソフトウェア	103,150	121,154
その他	21,172	16,994
無形固定資産合計	124,322	138,149
投資その他の資産	33,435	21,984
固定資産合計	167,099	167,565
資産合計	563,359	611,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	40,867	51,102
未払法人税等	19,035	3,918
契約負債	62,210	62,013
賞与引当金	20,976	20,898
その他	73,671	51,290
流動負債合計	216,760	189,224
固定負債		
保証履行引当金	3,904	3,731
資産除去債務	1,700	1,700
その他	407	274
固定負債合計	6,012	5,706
負債合計	222,773	194,930
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	142,499	213,707
資本剰余金	132,499	203,707
利益剰余金	65,586	△1,171
株主資本合計	340,586	416,243
純資産合計	340,586	416,243
負債純資産合計	563,359	611,173

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	969,345
売上原価	655,719
売上総利益	313,625
販売費及び一般管理費	356,561
営業損失(△)	△42,936
営業外収益	
補助金収入	500
その他	239
営業外収益合計	739
営業外費用	
支払利息	12
上場関連費用	13,123
その他	0
営業外費用合計	13,137
経常損失(△)	△55,334
税引前四半期純損失(△)	△55,334
法人税等	11,424
四半期純損失(△)	△66,758

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△55,334
減価償却費	19,879
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,195
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77
保証履行引当金の増減額(△は減少)	△173
支払利息	12
売上債権の増減額(△は増加)	20,218
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,454
立替金の増減額(△は増加)	△52,462
仕入債務の増減額(△は減少)	10,234
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,962
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△2,041
契約負債の増減額(△は減少)	△196
その他	△5,909
小計	△87,161
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	△100,248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△462
無形固定資産の取得による支出	△32,695
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,159
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	142,416
リース債務の返済による支出	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,288
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,880
現金及び現金同等物の期首残高	303,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	312,286



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月29日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。

この上場にあたり、2022年12月28日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行150,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ55,200千円増加しております。さらに、2023年1月30日に有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ16,008千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が213,707千円、資本剰余金が203,707千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。